
モンスターハンター 黒い騎士と白い姫様

光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンター 黒い騎士と白い姫様

【Nコード】

N0589N

【作者名】

光

【あらすじ】

今世紀最強のハンター。その称号をほしいままにしている彼は、ギルドの元、とあるパーティを世に送り出すための師匠となり、とある因果により少女姫の守護者となる。

PSPでモンハン3rdが出ると知って、勢いで描いた作品ですが、まじめにやるので、読んでみてください

プロローグ(前書き)

ども、コウです。

PSPでモンハン3rdが出ると知って書きたくなくなって書きました。更新はどうなるかわかりませんが、頑張りますんでよろしくお願ひします。

プロローグ

「面倒な……」

顔をしかめながら後ろにいくつもの残像を残し、疾走。

敵 ジャギイと呼ばれる、紫色とオレンジ色の鮮やかな模様をその体に宿す小型肉食動物の退化した前足を切り払い、痛みに悶えているところを心臓に一突きする。

太刀の血糊を振り払い、青年は背中の鞘に収め、

「これで終わりか……」

呟く。

周りを見れば、先ほどのジャギイ、ジャギイのメスと記録されジャギイより一回り大きいジャギイノスの遺骸が散乱していた。

3

だが、これらすべてを彼が片付けたわけではない。

ドスジャギイ ジャギイ達の親玉を旅ついでにクエストで狩ろうとしたら、すでにこのありさまだったのだ。

とはいっても、この半分は彼がやったのだが。

「ドスのほつもやられている……」

彼にとって一番重要なのは、目の前に標的がおびただしい血を流して倒れていることだ。

「ぶむ……」

深紅の瞳にまぶたをかぶせ、思索する。

そして出た答えが、

「面倒……」

関わらない、ということだ。

いくつかの可能性は考えられたものの、たかが可能性。あつてい
る限らない。

こういうことは、組織ギルドが考えればいいことなのだ。

「……手土産にとっていくか」

一応傷跡の部分と、まだはぎとられていない部位を慣れた手つき
で剥いでいった。

「行くか……」

そうして彼は、漆黒の髪をなびかせ、その場を去った。

プロローグ（後書き）

ども。

上記の勢いでという理由のほかにもう一点。最近いろいろあって執筆から遠ざかっていたので、そのリハビリも兼ねてです。

たぶん、今のところ更新はできませんが、興味があったら次のタイトルトルの小説を読んでみてください。

『竜と世界と最強夫婦』 『リアルワールド』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0589n/>

モンスターハンター 黒い騎士と白い姫様

2010年10月10日15時01分発行